

**製品名: TReP-132 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19236**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TRERF1
別名	TRERF1; BCAR2; RAPA; TREP132; Transcriptional-regulating factor 1; Breast cancer anti-estrogen resistance 2; Transcriptional-regulating protein 132; Zinc finger protein rapa; Zinc finger transcription factor TReP-132
遺伝子 ID	55809.0
SwissProt ID	Q96PN7
免疫原	抗血清はヒト TREF1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1071-1120

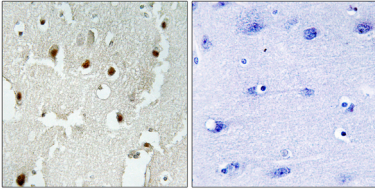
**背景**

この遺伝子は、CBP/p300 と相互作用してヒト遺伝子 CYP11A1 を制御するジンクフィンガー転写制御タンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014 年 7 月],機能: CYP11A1 の転写を活性化します。CREBBP および EP300 との相互作用により、CYP11A1 の相乗的な転写活性化が引き起こされます。類似性: 1つの ELM2 ドメインを含みます。類似性: 1つの SANT ドメインを含みます。類似性: 3つの C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: CREBBP および EP300 と相互作用します。組織特異性: 胸腺、精巣、副腎皮質で最も高い発現が見られ、副腎髄質、甲状腺、胃でも発現しています。ステロイド生成性の JEG-3 細胞および MCF-7 細胞では高い発現が見られ、非ステロイド生成性の HepG2 細胞および HK293 細胞では低い発現が見られました。

## 研究分野

-

## 画像データ



TREF1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。